



健康寿命延伸のために PHR データの活用を促進

急激な少子高齢化が進むなか、健康寿命延伸という社会課題を効率的に解決するためには、PHR（パーソナルヘルスレコード）データが広く共有されることが必要です。

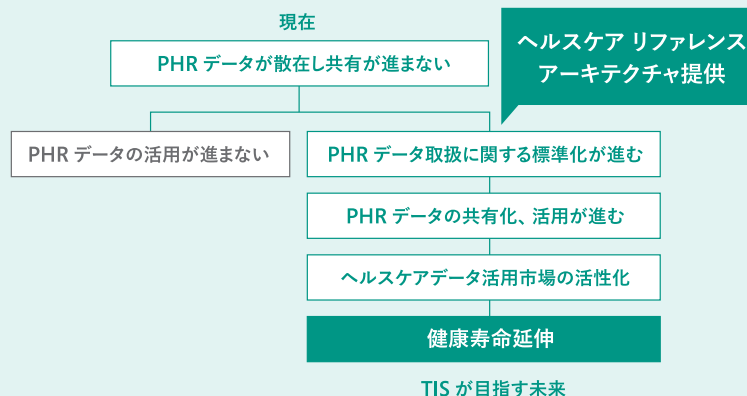
TISは、PHR分野においてヘルスケア情報の取り扱いに要求される各種ガイドラインに準拠したクラウドベースの技術を、日本マイクロソフトと連携しながら「ヘルスケア リファレンス アーキテクチャ」としてヘルスケア業界向けに新サービス立上げを検討する企業に提供・共有。PHRデータの取り扱いに関する標準化を進めることで、この社会課題の解決に貢献します。

特長

- PHRで求められる、セキュアで統一された基準でのシステム構築が可能
- システム構築期間を短縮し、運用及び開発コストの削減が可能
- 臨床関連の学会による生活習慣病テンプレートや経済産業省のサンプルプログラムの利用が可能

PHRデータの有効活用

生活者毎に健康・医療に関する情報を電子記録し把握するしくみであるパーソナルヘルスレコード（PHR）が整備され、生活者が医療機関や自治体等とともに活用することで、健康寿命の延伸に役立てることが可能となります。



ヘルスケア リファレンス アーキテクチャ

「ヘルスケア リファレンス アーキテクチャ」は下記の3つの内容で構成されています。日本マイクロソフト社のランディングページ及びGitHub上で公開しており、無償でダウンロード可能です。



業務ファンクションマップ

企業や自治体によるヘルスケアプラットフォームを利用した、PHR・EHR活用ケースをまとめたドキュメントです。

TISの「ヘルスケアプラットフォーム」のPHR部分を「PHR POC テンプレート」として提供



アーキテクチャマップ

機能要件・システムの検証、データ構造の標準化実装・運用方法が確認できます。表現するレベルの違う3つのアーキテクチャマップを用意しました。

PHRに必要なアーキテクチャを「Microsoft Azure」の各種サービスを活用して実装



サンプルプログラム(Github)

糖尿病を例にしたPHRサービスが準備できるプログラムです。PHRサービスの簡易試行におけるシステム準備が容易になります。

行政や臨床学会で定義した「標準」を参照したデータモデルやインターフェースのサンプルプログラムの提供



主な特長



PHR で求められる、セキュアで統一された基準でのシステム構築が可能

「PHR POC テンプレート」は今後の変化に対応しやすいアーキテクチャ設計を行っています。その実装では、Microsoft Azure の PaaS 機能を最大限利用しており、様々な業界のガイドラインや各国の規制に対応していますので独自で実装する部分を減らすことが可能となりました。引き続き、各種ガイドラインや規制への対応が行われますので、継続してメリットを享受することができる予定です。



システム構築期間を短縮し、運用及び開発コストの削減が可能

「PHR POC テンプレート」は PHR のアーキテクチャの基本部分をサンプル実装しサービス動作する環境を自動構築するプログラムも提供しています。簡易な PHR の PoC を実施する場合、「データモデルの定義」、「データ連携インターフェースの定義及び実装」、「表示内容の実装」を行えば PoC を実施可能です。サンプルとして糖尿病モデルを実装して提供していますので、他の疾患のデータモデルを実装する際の参考としても利用可能です。また PaaS を利用していますので運用の手間も大きく削減でき、PHR の PoC を短期間・低コストで開始できます。



臨床関連の 6 学会*による「生活習慣病コア項目セット集 (第 2 版)」及び「生活習慣病自己管理項目セット集 (第 2 版)」と、経済産業省の「健康情報等交換規約定義書」を参照したサンプルプログラムの利用が可能

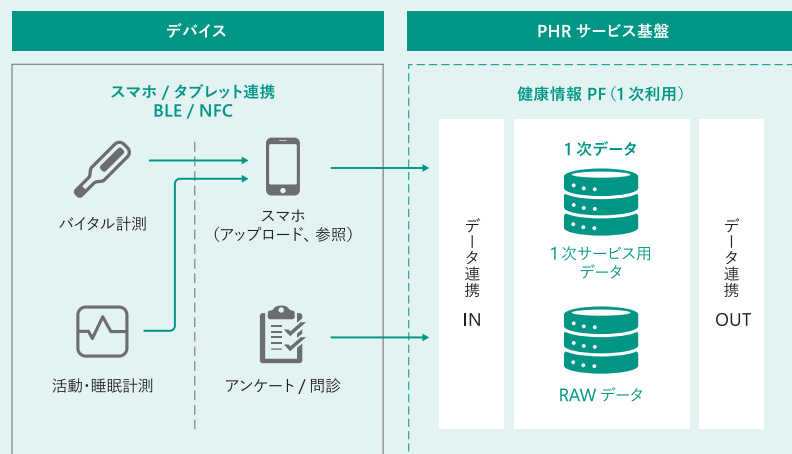
「PHR POC テンプレート」では「生活習慣病コア項目セット集 (第 2 版)」及び「生活習慣病自己管理項目セット集 (第 2 版)」で定義された糖尿病のコア項目セットと、経済産業省の次世代ヘルスケア産業協議会 健康投資ワーキンググループで作成した「健康情報等交換規約定義書」に記載された交換規約を参照したサンプルプログラム、およびサンプルデータを提供しています。標準として定義されたデータモデル および データ交換フォーマット上に、糖尿病サンプルデータを登録していますので、データモデルやインターフェースの標準化の重要性を、データの質を保ったデータ交換の流れで実際に動作させて確認することができます。

*臨床関連の 6 学会: 日本糖尿病学会、日本高血圧学会、日本動脈硬化学会、日本腎臓病学会、日本臨床検査医学会、日本医療情報学会

社内導入事例

職員の健康管理ツールを 3 日間で実装

新型コロナウイルス感染症の拡大にともない、職員の健康を守るために完全在宅勤務(テレワーク)への移行を目指したが、業務上の制約から出社せざるを得ない職員もいた。その対応策として、毎日の体温計測を職員に推奨し、体温を見える化する機能を PHR 基盤を用いて構築。プロトタイプ(勤務場所、体温を入力しグラフ表示)は 3 日間で実装することができた。



体温管理画面 入力した体温をグラフ表示で見ることができます



管理者画面 管理対象のデータを一覧で見ることができます

お問い合わせ先



TIS株式会社

DXビジネスユニット ヘルスケアサービスユニット ヘルスケアサービス企画営業部
〒135-0061 東京都江東区豊洲2-2-1豊洲ベイサイドクロスタワー URL: <https://www.tis.co.jp/>

お問い合わせ TIS Directセンター: Tel.0800-600-9810 携帯電話からのお問い合わせ: 050-5816-9805
※受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00(土・日・祝日を除く)

e-mail healthcare_sales@ml.tis.co.jp



© 2020 TIS Inc. All Rights Reserved.

本カタログに記載されている社名、商品名は、各社の商標および登録商標です。記載事項は2021年4月現在のものです。記載された内容は、予告なく変更されることがあります。



日本マイクロソフト株式会社

108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー